

長寿(後期高齢者)医療制度

年寄りには

「はよう死ねということか！」

怒怒怒

格差社会の極み

「長寿(後期高齢者)医療制度」がこの4月からスタートしましたが、問題多きこの制度に対して、全国から制度見直しや廃止を求める声があがっています。

制度開始はが起った!

①年齢によって後期高齢者を分断
75歳以上の高齢者を国保や健保から脱退させ、後期高齢者だけの独立保険に組み入れた。

②全ての高齢者が保険料を負担
家族に扶養されている人を含め、すべての75歳以上の高齢者が保険料の負担を求められる。

③年金からの天引き
大多数が「年金天引き」で保険料を徴収されるようになった(「天引き」対象は年金が月一万五千元以上)。

④介護保険料とあわせ二万円以上負担
保険料額は、月六千円(全国平均)で介護保険料月四千九十円(全国平均)とあわせると、多くの高齢者が、毎月二万円を超える。

⑤滞納は保険証取り上げへ
従来、75歳以上の高齢者は、障害者や被爆者などと同じく、「保険料を滞納しても、保険証を取り上げてはならない」とされてきましたが、今回の制度改悪により、滞納者は保険証を取り上げられることになった。

粗悪医療 病院追い出しの可能性

政府は、75歳以上の高齢者とそれ以下の世代で、病院・診療所に払われる診療報酬を別建てにし格差をつけました。このことで、75歳以上の高齢者に手厚い医療をする病院・診療所ほど経営が悪化するようになり、高齢者は、「粗悪医療」や「病院追い出し」をせまられる可能性があります。

新たな医療格差の拡大

地域の医療体制や被保険者の健康状態の違いが反映した自治体ごとの医療保険制度であったために、保険料水準にはおのずから違いがありました。県内統一の保険料になれば、都市部と山間部での医療体制の大きな相違等で、新たな医療格差が発生する恐れが強くなってきます。

将来の負担増は必至

後期高齢者医療費の約36%は、政管健保や国保に加入する0〜74歳の被保険者の医療保険に上乗せして回収され、そこから支払われます。「後期高齢者支援金」と呼ばれ、今でこそ36%の設定ですが、今後若年者が減り高齢者が増えれば必然的に保険料負担が若い層にかかってきます。

指摘される隠れた問題

自公政権で社会保障は

とめどもなく後退

医療・福祉の充実に国庫負担が不可欠です

適正な看護師配置を求めます

看護師が足りません

22時を過ぎてても、日勤と準夜（16時30分～0時30分）が一緒に働いている。しかも夕食も取れないままに……。病棟によっては、日常的に見られるその光景。休憩・休息・年休がもとにも取れない。生理休暇に至っては取ったことすらない。睡眠時間は数時間で、体調が悪くとも薬を飲んで職場にでる。「耐えられない」と職場を去る職員、補充されても過酷さからまた辞めていく。定年まで働き続けられる職場は少なく、看護師の若年化は益々進んでいく。

繁忙の放置は患者看護の質低下を招くだけでなく、職員の定着を阻み、職場を更に厳しい状況に追い込んでいます。そこに働く労働者を精神的・肉体的に破壊する行為であり、看護師に精神疾患が増えている実態もありま

低賃金と人手不足

介護・福祉現場の厳しさが報道され、その改善が叫ばれています。県内の実態も過酷であり、その改善は急務です。

第1は、介護・福祉労働者自身が健康を崩すほどの労働環境です。「腰痛」や「精神的な疲労」を訴える声が多く、精神的・肉体的に厳しい職場実態がその背景にあります。

第2は、労働基準法違反の常態化です。「残業」「打ち合わせ、研修」「移動・待機時間」に対する賃金の不払い実態があります。

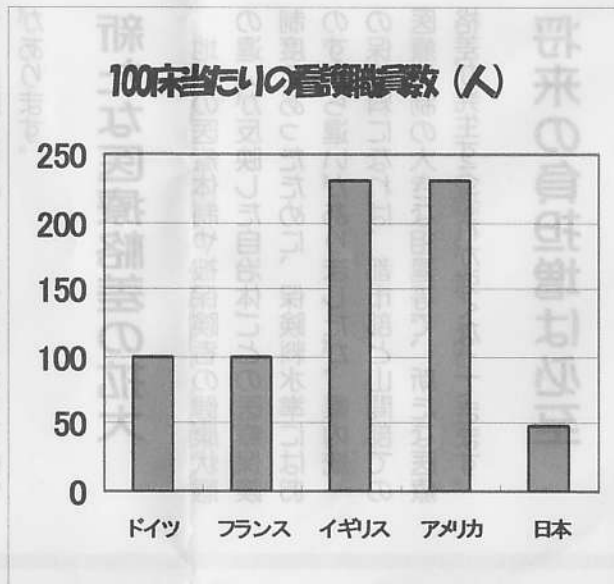
第3は、「生活が困難」「若者が逃げだす」と言われる低賃金構造です。時給が七〇〇円程度と低い上に、労働時間が少ない事業所もあり、ヘルパーでは生計が立てられません。

す。病苦を取り払い健康を取り戻すための場所、その従事者が病気になる。シャレにもなりません。

国の医療費抑制政策が看護師の適性配置を阻み、医師不足による診療科の縮小・閉鎖が周辺病院を多忙化させています。

左図のとおり、日本の看護師数は少ない現状があります。適正な看護師の配置を可能とする医療制度改革を求めます。

100床当たりの看護職員数（人）



第4は、人員体制の不備・人手不足です。低賃金で厳しい労働条件が、離職率を高めており、慢性的な人手不足の状況があります。利用者への十分なサービスを提供できない状況も生み出しています。

第5は、課題である介護分野の人材確保のために、国庫負担や介護報酬の改善（引き上げ）が不可欠となっていることです。低賃金繁忙が離職の原因となっていることから、改善には国庫負担の拡大や介護報酬の引き上げによって「賃金」と「人員体制」を担保する必要があります。

介護労働者の待遇改善を求めます